



01 国際交流員のコラム

- 天気について話している 鹿児島県国際交流員(モラン ベンジャミン 英国出身)
- 中国観光シリーズ～北京編～ 鹿児島県国際交流員(許 奎 (キョ ケイ)中国出身)

02 知事の動き

- 鹿児島空港国際化促進協議会の総会を開催しました(5月14日)
- 駐日インド大使館を表敬訪問しました(5月18日)
- 2026 本場大島紬クイーンのお二人が訪問されました(5月25日)

03 かごしまのイベント情報

- せつぺとべ(6月7日)
- 始良市加治木町くも合戦大会(6月21日)
- 💡 Coming UP!【令和8年7月、8月のイベント情報】

01 国際交流員のコラム

〇天気について話している

鹿児島県国際交流員（モラン ベンジャミン 英国出身）

鹿児島は梅雨に入りつつあり、その中で、同僚に「イギリス人は天気について話すのが好きだ」ということを思い出させられました。

私へのちょっとした皮肉かもしれませんが、この記事のトピックをもらったので、一応許すことにします。

大体のイギリス人にとって、天気について話すことは日常的事です。会話を切り出すきっかけとして使われ、個人的な意見などがあまり含まれていない世間話だと考えられています。天気が普通するときでも、お互いに会話を始めやすくするためのものではないかと思います。

以下は、イギリスの職場に到着したときの典型的なやり取りです。

Aさん：おはようございます

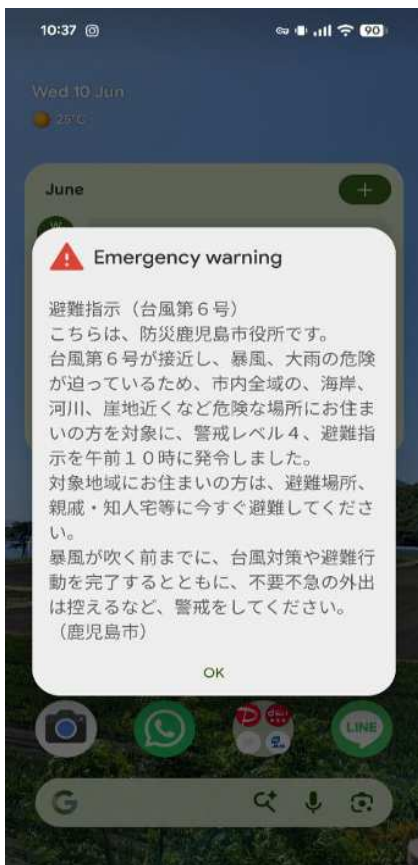
Bさん：おはよう！

Aさん：今日はいい天気／風が強い／雨／暑い／寒いですね。

Bさん：そうだね。この前、洗濯物をベランダに出したけど、まだ乾いていない／すぐ乾いた／凍っちゃった／飛ばされちゃった。

このような話はよくするので、多くのイギリス人は無意識にしていると思います。自分が職場に入るときの会話を振り返ってみると、思ったより頻度が高いことに気づきました。天気に興味がある人は少ないと思いますが、こういう会話は会話を広げるための出発点だと考えています。

梅雨や台風のある日本は、天気について話せることが多いはずだと思いましたが、実際には暑さについての文句以外はあまり聞きません。日本の天気はイギリスより大変な面もありますが、私の周りでは天気について話している人はそれほど多くありません。激しい天気に慣れているのか、それとも同僚が私の会話に飽きたの



か、理由はいろいろ考えられます。あるいは、単に基本的な会話習慣の違いかもしれません。

オランダでの研究によると、英語話者は会話の沈黙に最大4秒まで耐えられるそうです。また、職場における別の研究では、日本人は約8.2秒まで沈黙に耐えられるという結果が出ました。これは、私自身の沈黙に対する態度や、無理にでも会話を続けようとする傾向について考え直すきっかけになりました。

結局のところ、私のように沈黙に耐えられない人は、どうしても天気の話をしてしまうのではないかという結論に至りました。話しかけられる側の人には、そういった面倒を「国際交流」として受け取っていただければと思います。(..)



▲天気が悪い時のイギリス

○中国観光シリーズ～北京編～

鹿児島県国際交流員(許 奎 (キョ ケイ)中国出身)

北京と聞くと、皆さんは何を思い浮かべますか？世界最大の宮殿である紫禁城しきんじょうでしょうか？「長城に至らずんば好漢にあらず」と言われる長城でしょうか？それとも、多くの人に愛されている北京ダックでしょうか？北京で6年間暮らしてきた私が、今日、皆さんをこの古くて神秘的な街へのご案内します！

旅行聖地

① 故宮こきゅう (紫禁城しきんじょう)

1420年、明の成祖・朱棣がこの皇宮を建設して以来、計24人の皇帝がここで暮らし、政務を執り、500年以上にわたる中国の歴史を刻んできました。北京の中軸線上に位置し、天安門広場を抜けるとすぐ見えて、北京観光では外せない定番のスポットです。故宮の周辺には、古代の衣装をレンタルできるお店がたくさんあります。皇帝や皇后の衣装を身にまとい、皇族の生活を体験してみたいかがでしょうか？



▲故宮

② 万里の長城



▲万里の長城

紀元前 7 世紀の春秋戦国時代、各諸国は外敵の侵攻から身を守るため、次々と城壁の建設に着手しました。その後、秦の始皇帝が全国を統一し、各国の既存の城壁を連結・修繕し、最初の連続した長城が形成されました。これは軍事防衛の役割を果たしただけでなく、辺境の管理強化にも寄与し、中華民族の不屈の精神の象徴となっています。

③ 三里屯

北京には歴史的な雰囲気だけでなく、若者が楽しめるスポットも数多くあります。北京で最もトレンドなエリアである三里屯には、様々なバーやショッピングモールが集まっており、中国初の「複合型」ユニクログローバル旗艦店も出店しています。トレンドな北京を体験したいなら、ぜひ三里屯へお越しください！



▲三里屯

おすすめグルメ

① 北京ダック



世界中の人々に愛される料理として、北京ダックは北京を代表する料理の一つと言えるでしょう。かつては貴族だけが味わえた料理でしたが、今では一般の人でも気軽に楽しむことができます！より上質なサービスと味わいを求めるなら「^{ぜんしゅとく}全聚徳」を、コストパフォーマンスを重視するなら「^{しこうえん}紫光園」がおすすめです。

◀ 北京ダック

② ^{ジャージャンめん} 炸醬麵、^{とうじゅう} 豆汁

古き良き北京の庶民的な軽食として、毎朝豆汁と焦圈(揚げドーナツ)を楽しみ、昼には炸醬麵をいただくのは、この上ない至福のひとつです。豆汁は大豆を発酵させて作られるため、体に良いと言われています。しかし、その酸っぱい臭いに、多くの方は敬遠してしまいます。もしあなたも北京人の一日を体験してみたいなら、ぜひ一度試してみてください！



▲^{ジャージャンめん} 炸醬麵、^{とうじゅう} 豆汁

02 知事の動き

○ 鹿児島空港国際化促進協議会の総会を開催しました(5月14日)

鹿児島空港国際化促進協議会の総会を開催しました。

総会では、令和7年度の事業・収支決算の報告と令和8年度の事業計画・収支予算(案)を審議していただき、全ての議案が承認されました。

鹿児島空港の国際定期路線につきましては、コロナ禍前に就航していた4路線が全て再開されましたが、現在、香港線、上海線は運休しています。

今年度から、団体ツアー助成の要件を緩和するほか、新たにSNS等を活用したプロモーションを実施することにより、より多くの方々に鹿児島空港国際線を利用していただきたいと考えています。



▲総会の様子

○ 駐日インド大使館を表敬訪問しました(5月18日)

インドのナグマ・モハメド・マリック駐日インド大使を表敬訪問しました。

マリック大使からは、本県産品のインドへの展開についてご助言をいただいたほか、今後の経済分野における交流や、インド人材の受入れなどについても意見交換を行いました。

私からは、これまでの本県との交流に対する御礼を申し上げるとともに、今後も相互に協力しながら、関係を継続・発展させていきたいとお話しました。



▲ナグマ・モハメド・マリック大使との記念写真



▲ナグマ・モハメド・マリック大使との意見交換の様子

○ 2026 本場大島紬クイーンのお二人が訪問されました（5月 25 日）

2026 本場大島紬クイーンに新しく選ばれた、郡山虹夏さんと宮下千百合さんが県庁を訪問されました。

ウクライナ出身の郡山さんは母国をイメージした青色の色大島を、宮下さんは上品な白大島を着用し、大島紬の魅力をしっかりアピールしてくださいました。

郡山さんは、母国ウクライナと日本の架け橋となり、伝統的な大島紬の魅力を発信する役割を果たしたいと抱負を述べられました。英語講師の宮下さんは、語学力を活かした PR 活動を積極的に行いたいと意気込みを語られました。

今後のお二人のご活躍を、心より期待しています。



▲郡山虹夏さん、宮下千百合さんとの記念撮影

03 かがしまのイベント情報

○ せっぺとべ(6月7日)

「せっぺとべ」は文禄 4 年(約 420 年前)から日吉地域に伝わるお田植え祭りです。若い衆が田の中で円陣を組み、酒を飲み、唄を歌いながら勢いよく飛び跳ねます。この祭りは土をこねる足踏み耕の意味と害虫を踏み潰す意味があり、泥にまみれて今年一年の豊作を祈願します。当日は地域住民や子供会による棒踊り、虚無僧踊りなども奉納され、まちは終日活気に包まれました。

「せっぺとべ」は「精一杯跳べ」の意味があります。



▲せっぺとべの様子「© K. P. V. B」



▲せっぺとべの様子「© K. P. V. B」

○ 始良市加治木町くも合戦大会(6月21日)

関ヶ原の敵中突破で名高い島津義弘公が文禄・慶長の役(1592年～1598年)に参戦し、その陣中で兵士を元気づけるためのコガネグモ(メス)を集めて戦わせたのが始まりです。現在は平成3年8月に設立された『くも合戦保存会』の主催で毎年6月第3日曜日に開催され、海外からも取材を受けるなど広く注目を集めています。

当日は小学生から大人まで、120名ほどの方が参加しました。参加者の熱意があふれ、今なお地域に愛され伝承される全国でも稀な伝統行事です。



▲クモ合戦大会の様子「© K. P. V. B」



▲クモ合戦大会の様子「© K. P. V. B」

🔔 Coming UP! 【令和8年7月、8月のイベント情報】

◇ 7月

18日～19日 霧島国分夏まつり (霧島市)

24日～8月9日 第47回霧島国際音楽祭2026 (霧島市)

25日 第27回知覧ねぶた祭 (南九州市)

◇ 8月

1日 【2026】かのや夏祭り (鹿屋市)

11日 かいもん夏祭り (指宿市)

16日 川内川花火大会 (薩摩川内市)

29日 かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 (鹿児島市)

ぜひ、足を運んでみてください♪



編集後記 (鹿児島県 総合政策部 国際戦略課)

皆さん、こんにちは！！皆様はどのように6月をお過ごしになりましたか？本格的に梅雨入りが発表されました☂

皆様は、6月の風物詩である『紫陽花』の外国語をご存じでしょうか？今回、国際戦略課の国際交流員に聞いてみました！！

英語では「Hydrangea(ハイドレンジア)」、中国語では「绣球花(シウ チュウ ファ(ホア))」、韓国語では「수국(スグック)」と言うそうです📄

紫陽花の外国語名をご存じの方は、ぜひ、教えてください！！

ちなみに紫陽花は、土壌の酸性度に応じて色が変わるので「七変化」という別名もあるそうです。色が変わる性質から、アジサイは無常や変わりやすさを象徴する花であり、人生において変わらず確かなものは何もない、与えられた人生の一つ一つ、一日一日を大切にしよう、という教訓ともなっているそうです。(引用:国土交通省 観光庁 地域観光資源の多言語解説文データベース)

7月が始まります。一日一日、大切に頑張っていきましょう。暑さも増してきたので、熱中症にはお気をつけください。

それではまた次号もお楽しみに☆彡

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。写真の簡単な説明を添えてお送りください(例：克灰袋の山)。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▼▲

鹿児島県総合政策部 国際戦略課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号: +81-99-286-2306

FAX 番号: +81-99-286-5522

E-mail: minami@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県庁ホームページ



<http://www.pref.kagoshima.jp/>

鹿児島県観光サイト かごしまの旅



<https://www.kagoshima-kankou.com/>

※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。